

◆ グループワークの課題

「 自宅看取りはなぜ進まないのか 」

「 自宅看取りが進むには 」

◆◆ 意見

・がんや疾患がある場合は予後が見えるので介護休暇もとりやすく、アプローチしやすい。しかし、老衰や慢性心不全等の疾患の場合、なかなか終わりが見えず先の見通しがつかないため家族の負担が増える。

・高齢者独居、家族と暮らしているが共働きのため日中独居だと介護力の問題がある。

・訪問看護の存在は知っているが、どんなことをしているのか、どんなことをしてもらえるのか知らない人が多い。家族にうまく伝わっていない。

・自宅で看取る手段を知らない。

・心不全などいつ悪くなるか分からず終わりが見えない。見方によってはリカバーできたり外来で治ったり。当院は在宅療養支援診療所であるものの、困ったときは在宅専門の先生にお任せしたりもする。

・在宅で看取ろうとした時、苦しい、痛がっていることに対して対応できないのではという意識がある。

・（経験者からの意見）親族内で意見が分かれて意見統一ができなかった。最終的に自宅で看取れたが、キーパーソンとなる熱心な方（同居者）がいたため。意見が別れたのは外に住んでいた人だった。また、関与したナース、スタッフがそちらの方向にむけるような作業もあった。

・往診してくれるドクターが24時間対応してくれること。

・バックアップの問題。急変時受け入れしてくれる病院が近くにあると便利。

・訪問看護ステーションは増えているが、24時間対応が少ない。土日も難しい。在宅医が頑張っただけカバーするしかない現状。

・東部に24時間対応の訪問看護ステーションが増えれば看取りも多少は増えるのではないか。

【 訪問看護について（看護協会 鈴木さんより） 】

・広報に行かせていただきたい、出前講座をご利用ください。

訪問看護を使っただけであれば、ケアマネや家族さんも分かっただけははず。

利用に勇気がいるのか？金銭的な問題なのか？単に仕事内容が分からないということであればぜひ連絡をください。

→料金については訪問介護の倍になるが、最後に頼りとなるのは経験豊富な訪問看護だと思うので、利用いただきたい。（岸先生）